

# 王英燕研究会

経営学：組織行動論・組織論



# 研究内容

---

## 組織行動論

- 個人や小集団、組織に関わる行動メカニズムを学習
- ゼミでは特にミクロ（個人、小集団）に注目
- 現実の問題を把握し、解決方法を探求



# 組織行動論の目的

人や組織の行動原理を解明し、  
企業の成長を促すこと



心理学や行動科学とも隣接

{ 個人のモチベーション、動機付け  
コミュニケーション, リーダーシップ  
研究

etc.

# 王ゼミの目標

組織と人のマネジメントに関する専門知識を  
身に着け、  
将来の良き企業リーダーとなる人材を育成す  
る。

# 活動日

サブゼミ：

月曜4限

本ゼミ：

木曜4・5限

# 活動内容 —本ゼミ(春)—

## 1. 教科書輪読

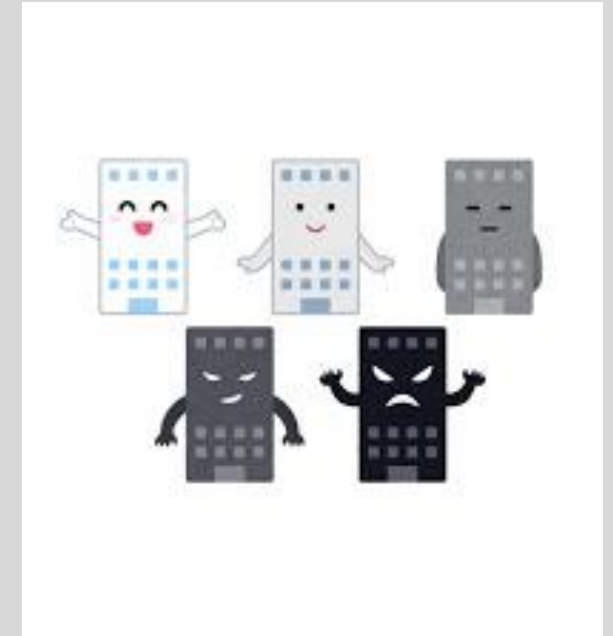
## 2. 英文輪読

## 3. 論文輪読



# 活動内容 一本ゼミ(秋)

1. ミニプレゼン  
企業、業界の話題
2. 統一テーマプレゼン  
広いテーマに対し、  
理論分析
3. 卒論発表

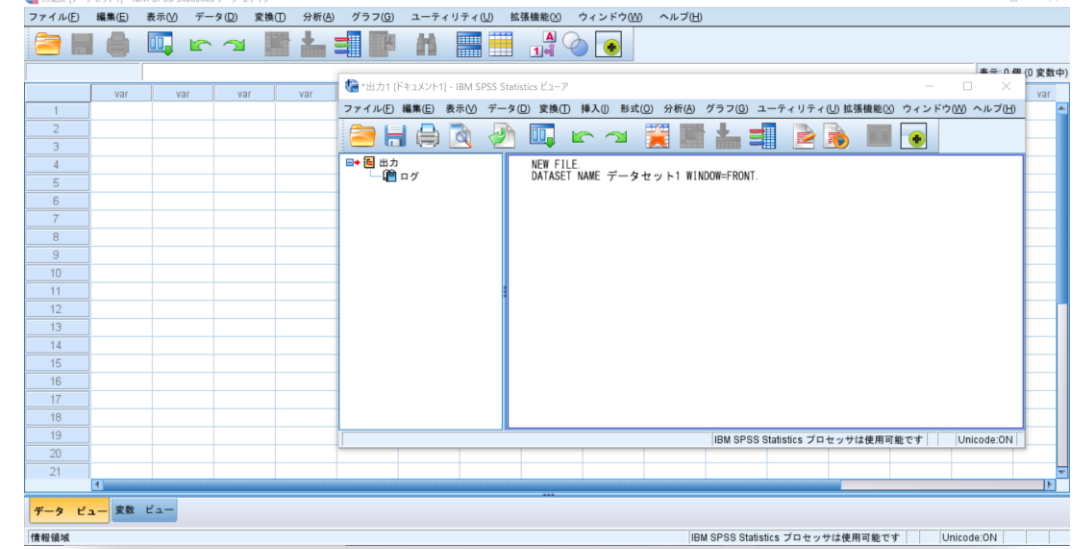


# 活動内容 ーサブゼミー

1. 調査方法・統計ソフト  
の学習

2. 実証研究・論文作成

3. ゼミ運営についての  
打ち合わせ



## 組織科学

特定非営利活動法人 組織学会 [🔗](#) が発行

収録数 206本  
(更新日 2020/06/06)

Online ISSN : 2187-932X  
Print ISSN : 0286-9713  
ISSN-L : 0286-9713

[ジャーナル](#) [査読](#) [認証あり](#)



## 日本経営学会誌

日本経営学会 [🔗](#) が発行

収録数 670本  
(更新日 2020/06/06)

Online ISSN : 2424-2055  
Print ISSN : 1882-0271  
ISSN-L : 1882-0271

[ジャーナル](#) [査読](#) [フリー](#)







# 王ゼミの特徴

---

- 議論の機会が多い
  - ⇒ 就活、人生における**主張力**の養成！
- 新規ゼミ（現在2期）のため、**自主性**が向上
  - ⇒ 社会で必要とされる能力を高める
- ゼミの文化、内容を自分たちで決められる
  - ⇒ **柔軟性**のある活動

# 求める人物像

01

優秀で知的好奇心の高い人

02

誠実さと謙虚さを持ち、思いやりのある人

03

協調性と責任感のある人

04

高い行動力を持ち、ゼミ活動に積極的に提案できる人

# ゼミで求められる力

## ① 文章力

⇒論文読解に必要

## ② 英語力

⇒英語論文にも取り組むため

## ③ プレゼン力

⇒プレゼンの機会が多く、伝達力が必要

## ④ 主体性

⇒研究、テーマについて積極的な思考

# ゼミ員構成



**4年生 : 7人**  
**3年生 : 7人**





# 年間行事（去年のもの）



4月：懇親会

9月：ゼミ合宿@大阪

11月：三田祭展示発表

12月：佐藤和ゼミとのインゼミ

1月：新年会

1月：企業の方のゼミ内講義（損害保険ジャパン株式会社）

# 年間行事（今年の予定）



5月：オンライン懇親会

11月：三田祭展示発表

佐藤和ゼミとのインゼミ  
模擬面接

12月：ゼミ内論文発表

3月：追いコン

# ゼミ内受賞論文

- 非倫理的向組織行動に関する考察  
ーリーダー・メンバー交換と組織コミットメントに注目してー（戸村・本間）
- 大学生のフォロワーシップとwell-beingの形成要因（黒沼）
- 日本プロ野球における業績の影響要因  
ー金銭的報酬・自己決定に着目し、選手とチームの両側面から探るー（浅野）
- ワーク・エンゲイジメントに影響を与える他者とそのプロセスに関する記述的研究  
ー大学生とその親への聞き取り調査からー（中野）



## 方式

- ゼミ員との座談会
- 教授との面接

## 提出物

- 独自ES
- 成績表



Twitter: @2020ouzemi



LINE QR



Mail: [ouzemi2020@gmail.com](mailto:ouzemi2020@gmail.com)

HP: <https://ouzemi.jimdofree.com/>